

国際小児がんの日



2015.
2.15

2014年度 報告書

公益財団法人 がんの子どもを守る会

——毎年2月15日は「国際小児がんの日」です。

毎年世界中で17万5千人もの子どもたちががんと診断され、
そのうちのおよそ9万人の子どもたちが幼い命を奪われています。

こうした厳しい現実を知ってもらう目的で、国際小児がんの会
(CCI) は、毎年2月15日を「国際小児がんの日」とし、2002年
以来、世界中の団体と連携してさまざまなキャンペーンやイベント
を実施しています。



当会もこの趣旨に賛同し、2011年度よりこの日に合わせて、
小児がんの啓発に努めてまいりましたが、2013年度より、新たに
「国際小児がん月間」を設け、本部・支部、会員、ボランティア、
支援者が一体となり、全国一斉に小児がん啓発キャンペーンを展開
しています。



2014年度は、これらに加えて、丸紅財団からの助成により小児が
んの子どもたちが描いた絵をモチーフにした啓発パネルと啓発カー
ド（絵柄4種）を作成し、全国の小児がん啓発ツールとして活用して
いただきました。

チラシを8500部作成し、
当会の会報誌「のぞみ」が発送される2月に
全国に配布しました。



国際小児がんの日

啓発キャンペーン 2015.2.1~3.31

あなたの理解が小児がんの子どもたちの闘病と成長を支えます

2015 啓発カード：無料 おもて

あなたの理解が小児
がんの子どもたちの
闘病と成長を支えます

2月15日は国際小児がんの日です。

世界では…

適切な治療が受けられずに命を落とす子どもたちがいます。
当会では、ICCCPO(国際小児がん親の会連盟)を通じて
世界の小児がん患児家族を支援しています。

日本では…

年約2000人の子どもが新たに発症しています。
病気によっては7~8割が治療を終えることができますと聞かれます。
子どものがんは生活習慣に起因するものではないと聞かれます。
治療を終えても病気や治療の影響で学習や、機能の変化などの目に見え
ない障がいを抱えながら生活する子どもたちがいます。
長期間の治療のため、学校や家族など生活面にも様々な影響があります。



CCAJ

公益財団法人 がんの子どもを守る会

Children's Cancer Association of Japan

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-3-12

代表：Tel 03-5825-6311

Fax 03-5825-6316

相談専用：Tel 03-5825-6312

http://www.ccaj-found.or.jp

nozmom@ccaj-found.or.jp

みなさまの温かいご支援おまちしております

裏面デザインは4種類
すべて小児がんの子どもたちが描いた作品です。

2月15日は「国際小児がんの日」です。世界には、適切な治療
が受けられない小児がんの子どもたちがいます。日本では年間
約2,000人の子どもが新たに小児がんと診断されています。
病気によっては7~8割の子どもが治療を終えることができ
ていますが、今なお子どもの病死原因の第1位を占め
ています。



国際小児がん親の会連盟は、世界中の
団体と連携して2月15日に様々な
イベントを実施しています。
がんの子どもを守る会もこの活動
に賛同し、一人でも多くの方に小児
がんについて関心を持っていただ
けるよう各地で啓発活動をいたします。

直接啓発活動にご参加いただけない
みなさんも周りの方に啓発カードを
配布したり、チャリティグッズを身
につけることで、世界中の小児がん
患児家族の支援につながります。
この機会に、ぜひご協力ください。

チャリティグッズ

Tシャツ (120 cm、140 cm、S、M、L)



120、140 cm・・・1000 円のご寄付につき1枚
S、M、L・・・2000 円のご寄付につき1枚

ゴールドリボンストラップ



ゴールドリボンバッジ



500 円の
ご寄付につき1つ

※今回お寄せいただいたご寄付の一部は、国際小児がん親の会連盟
を通じ、世界の小児がん患児家族支援に活用させていただきます。

★各地の活動の詳細は「がんの子どもを守る会スタッフブログ」にて
<http://blog.canpan.info/nozomi/>

お問合せ先：公益財団法人がんの子どもを守る会 Tel 03-5825-6311

全国各地の啓発活動予定

キャンペーン期間中、各地で啓発活動を行
います。詳細はブログで紹介しています。

<予定>

- 2/15 愛知 ウィンク愛知
- 福井 フェアモール福井(元*外福井大和田)
- アピタ敦賀店(1/30~)
- 愛媛 フジグラン重信
- 宮城 宮城野区中央市民センター 3F
- 富山 フューチャーシティ「ファアロー」
- 新潟 イオンモール新潟南
- 静岡 サントムーン柿田沢
- 高知 高知会館
- 長崎 ゆめタウン夢彩都
- 2/18 香川 四国こどもとおとなの医療センター
- 2/21 大阪 総本山四天王寺
- 岡山 岡山駅東口付近
- 長野 長野県こども病院
- 2/26 北海道 北海道庁 1F ロビー(2/27)
- 2/28 宮崎 若草通り商店街(若草市街)
- 長野 安曇野市社会福祉協議会
- 3/1 福岡 ゆめマートうきは(2/28~)
- その他：(宮城)宮城野区中央市民センター (福島)福島市内
(埼玉)イオンモール春日部 (神奈川)トレッサ横浜
(東京)イオンモール東久留米、押上駅周辺 (千葉)
イオンモール船橋 (福井)福井済生会病院ロビー
(大阪)なんば駅周辺 (広島)広島市内2力所 他

申込書は裏面にあります

国際小児がんの日オリジナルTシャツ

当会でオリジナルTシャツを制作。大人サイズ（S／M／L）は2,000円以上のご寄付で1枚、子どもサイズ（120／140）は1,000円以上のご寄付で1枚の頒布をしました。

合計約460枚のご協力を得ました。



個人の方はじめ、全国の自治体や医療機関、教育機関など様々な場所に配布と設置をいたしました。合計約36,000枚のご協力を得ました。

＜裏面：4種類＞

子供們的なまこころをのびこらす



「ラジオ体操」 三品 雅貴 5399月
原案・監修 森田 浩二
監修・演出 山本 昌彦

4歳と5歳の兄ちゃんのおもちゃは箱で遊ぶのが大好き、小月もは箱か
きやまのラジオ体操も一緒にしてました。これは8ヶ月の化
学療法を終えた月久、久しぶりの家族そろってラジオ体操を楽しむ
瞬間の描写。

弟と姉妹で遊ぶのはあまりありませんでしたが、「まふまのなかのけ、
かいていりなうとかなど、自由のなかでこの心象のなかで遊
びました。いっちゃんもなまこころをのびこらす、うしろをうしろして
いたのを覚えています。

雅貴の思いはこれ、これが家族の宝物です。

2015年4月14日現在、月久さん4歳7ヶ月、小月さん3歳7ヶ月

CCA | 子どものこころをのびこらす
NPO 法人 こころの未来を応援する会

[illegible]

オリジナルポケットティッシュ

当会でオリジナルポケットティッシュを20,000個制作し、啓発活動に活用しました。

CCAJ
全日本がんの子どもを守る会
Children's Cancer Association of Japan

あなたの胸に
ゴールドリボン



gold Ribbon

ゴールドリボンとは | 小児がんの理解と支援を呼びかける
世界共通のシンボルマークです。

ゴールドリボン募金は

◆URL: <http://www.ccaj-found.or.jp/> ◆TEL: 03-5825-6311

500円以上の
募金をお願いします。





小児がんを世界の子どもの医療政策上、優先すべき8つの理由

1. 統計はすべてを語らないからです。

小児がんは、世界的に年間約17万5千人から25万人発症すると推定されていますが、この数字は過小評価された数字であると認識されています。その理由としては、大多数の低所得国では、小児がん登録が実施されていないことにあり、小児がん患者に対する不十分な診断、誤診、そして過小登録等によるものとされています。これらの国においては、小児がん患者は、診断されることもなく、記録に残ることもなく、登録されることもなく亡くなっていくのです。専門家や調査によれば、小児がん患者の約90%が発展途上国の子どもたちと推定されています。

2. 小児がんには国境がないからです。

高所得国においては既に見られる現象ですが、増えつつある中所得国においても、小児がんは子どもや思春期児童の間では、非偶発的な死の主たる原因となっています。世界的に感染症による子どもの死は著しく減少しているものの、小児がんによる死は増加しているのです。子どもの死亡者数は、高所得国においても低所得国においても、非感染症疾患、特に小児がんを原因とする割合が大きく、そして増加しているのです。公衆衛生の専門家の多くは、この上昇率が問題であると信じています。

3. 小児がんは治すことのできる病気ですが、大陸間や国家間で生存率に著しい不公正と乖離があるからです。

小児がんは、医療関係者の間では、現代の“奇跡”と考えられています。現代の治療法により、今や70%以上の小児がんが治るようになりました。総合的に見れば、5年生存率が約60%であった1970年代中頃からみれば、これは、目を見張る増加です。とは言え、生存率は、がんの種類とその国の医療体制インフラの状況、医療文化及び社会経済状態といった要素により異なるのです。医療ケアへの道が限られ、大いなるチャレンジとなっている低所得国においては、生存率は10%から20%と低く、これは、がんと診断され治療を受ける10人の子どもの内1人か2人しか生存できないことを意味しています。逆に、高所得国の生存率は80%から90%と高く、これは診断され治療を受ける患者の1人か2人だけが命を落とすことを意味します。

この顕著な不公正は、小児がんの初期症状に関する情報の不足、診断の遅れ、誤診、皆無か脆弱な移送システム、ケアと治療へのアクセスの難しさ、治療及び医薬品の法外なコスト、脆弱なヘルスケアシステム及び治療放棄（例えば、治療の中断）によるのです。

同じ大陸の隣どうしの国にあってさえ、小児がんや思春期児童の生存率の差が50%以上になる例もあります。例えば、ヨーロッパでは、中欧及び東欧諸国は、他のEU15ヶ国と比べて著しく低いがん生存率（より高い死亡率）を示しているのです。一般大衆のがんに対する無知、予防とスクリーニング努力の欠如、そして限られたヘルスケア資源のすべてが、この格差の原因として挙げられるのです。

4. 1人の死でも多すぎるからです。

世界中の多くの子どもたちや思春期児童が、未だに小児がんや思春期がんで命を落としています。現在の限られた総計によれば、3分毎に1人の小児がん患者が亡くなっています。多くの低所得国や中には先進国でさえ、ある種のがんの有効な医療が存在していないのです。小児がんは、世界的ながんの負担とすればほんの一部に過ぎませんが、子どもたちやその家族にとっては、それは、生きるか死ぬかの違いなのです。

その上、主たる成人がんは医薬品と治療法の開発の著しい進歩がありましたが、小児がんの医薬品と治療法の開発は大きく遅れています。米国において開発された小児がんの医薬品は、直近でも今から30年前のものです。小児・思春期がん患者は、長期間に渡る健康問題・チャレンジを伴う、厳しく辛い、そして毒性のある治療に悩まされ続けるのです。アメリカにおいては、2000年1月からFDA（アメリカ食品医薬品局）が、88件の成人がんを治療する新薬を承認しましたが、小児期グループへの使用承認はわずか3件でした。このように小児がんに対する薬品開発が少ないという記録は、配慮と関心において大きな不公正があることを意味しているのです。

5. 子どもたちは、私たちの未来であり、精一杯生きる機会を受けるに足る価値があるからです。命を失った子どもたちの一人一人すべてが、彼らのコミュニティや国の未来へのかけがえのない貢献者なのです。健康な子どもたちや思春期児童は、生産性があり持続するコミュニティや発展していく国々に貢献しているのです。

命を失ったすべての子どもが、将来にとってかけがえのないものなのです。私たちは、私たちの家族、コミュニティや国家に対する、彼らのもつ特有な人間性、才能、そして潜在的な貢献といった恩恵を失うのです。小児がんや1人の子どもの失うことで、世界は71年の生命を失うのです。

ある親は、こうした状況を強く訴えるように以下のように述べています。“小児がんは、たくさんのものを奪っていきま。それは、私たちの過去、現在そして未来を奪い取るのです。それは、これを分かっていたらよかったとか、これだけでもしてあげれば、といった気持ちを残しつつ、私たちの子どもの思い出をだいたしにしてしまう、という意味で私たちの

過去を奪うのです。小児がんとその治療は私たちの時間、エネルギーそして感情の多くを使ってしまうという意味で、それは、私たちの現在を奪うのです。もし、私たちの子どもが生き延びるとしても、私たちは、再び、元の生活に戻ることは無いという意味で、それは、未来を奪うのです。すなわち、私たちは、また、病気の生活に戻るかも知れないという現実的な可能性に永遠に向き合っていくことになるのです。子どもたちが生きながらえることが無い場合は、私たちは子どもたちと共有し合えたであろう未来を変えられ、奪われてしまうことになるのです。”

小児がんを乗り越えた子どもたちでさえ、病氣との闘いが終わるわけではありません。長期に渡る小児がん経験者の内、60%を超える小児がん経験者が過去に受けた治療の結果、慢性疾患を患っており、25%以上の小児がん経験者は、重篤で命を脅かす疾患を患っているのです。アメリカの主要な医療機関の最近の研究によれば、子どもの時に受けた小児がん治療により、小児がん経験者が45歳になるまでに、95%以上の者が慢性的な健康問題を抱えることになり、80%以上の者が重篤な命を脅かす状態に置かれることを明らかにしています。

身体上の健康リスクに加え、他の研究では、多くの小児がん経験者が不安を抱えていることを示しています。小児がん経験者の内、16%以上の者が、心的外傷後ストレス精神障害に該当しています。身体的に健康に優れた小児がん経験者に対してさえ、不安とうつは健康に多大な影響を与え得るのです。

6. 子どもが小児がんに罹患することで、家族が倒産し、財産が奪われ、貧困に陥り更に貧乏になることがあってはならないからです。子どもや家族だけが、孤独に小児がんと向き合うべきではないからです。

家族は、小児がん患児のために、食卓に食べ物を置くのが良か、学校に子どもを送っていくことが良いのか、または、小児がん治療を行えば良いのかの間での選択をすべきではありません。残念なことに、小児がん治療や薬品の絶望的な費用から、低中所得国における小児がん患児を抱える家族たちは、これらの難しい選択を強いられているのです。先進国においても、保険の付保が少ないか、または保険に加入していない小児がん患児の家族は、同様の負担に直面するのです。

ある親が嘆き悲しんでいたように、小児がんは、子どもたちが病氣に対処する強さがあるから、子どもたちに施すものではありません。小児がんは、単に、かわいい、毛のない光る頭と勇敢な笑顔をもった幸せな子どもたちではありません。小児がんは、恐ろしいのです。小児がんは暗いのです。小児がんは、子どもたちから幼児期を、小児がん患児の家族から楽しみと平和を奪い取るのです。それは、家族と生活をだいたしにすることになるのです。それは、一生、私たちに注意を払わせるのです。それは、おそらく、世界中で最もストレスを感じ、心を砕く物の一つなのです。

7. より良きケアへのアクセス、安価で高品質な医薬品と医療保険が、その死を止めることに役立つからです。

慎重に練られた低中所得国における小児がんプログラムにおいて、10年以内に生存率を30%とすることが記載されました。もう一つの有効な戦略は、“ツインプログラム”です。低中所得国の医療施設における主要な人材のために、先進国の能力、適度な資金供与、指導、教育、支援を備えた先進国又は他の中進国の医療施設との長期的なパートナーシップによって、子どもたちのための国の健康保険や国のがん対策の取り組みを是正する有力なトップダウンの試みが効率的に補完されることになります。

アフリカや中米における最近の研究によれば、急性リンパ性白血病やパーキットリンパ腫のような、高い確率で治すことができる一般的ながんへの資金投下は、低中所得国においてさえも、非常に投資効率が良いということが明らかになっています。アメリカにおける研究では、新しい発見が無くとも、単に、成人ではなく小児の治療を施すことによって30%以上の10代の小児がん患児が治癒しうることが記載されています。

8. 小児がん患児に対する最高のケアへアクセスすることは、単に彼らの特権ではなく、人としての権利だからです。すべての子どもは、世界中どこにいても、可能な限り最高の治療とケアを受けるに値する価値があるのです。30年前、国連によるすべての人に健康を、の呼びかけがありました。この呼びかけにも拘わらず、小児がんは、無視されあまり重要でない病氣として置き去りにされ続けているのです。

小児がん患児は、低中所得国の子どもたちに影響が過大となるマラリヤ、はしか、結核、HIV、栄養失調や他の命を脅かす病氣を患った子どもと同じように大切なのです。病氣の子どもたちすべては、彼らの命を長らえ生活の質を改善するために、私たちが最大限の努力をすることに値しているのです。

小児がん患児は、苦しみを少なくし、もっと生きながらえなければなりません。親の会、職業団体、政府、世界的な開発に貢献する機関、学術団体、及び善意の個人が一緒に働きかけることで、それが無ければ将来に希望を抱けなくなってしまう子どもたちのために、変化をもたらすことができるのです。

ある親は、その挑戦を次のように言っています。“私たちの子どもの将来は、単に、最愛の子どもを失った家族や友人に頼ることで無く、苦悩に共感する第三者の親切な行為に頼ることで無いのです。小児がん患児、小児がん経験者、そしてその家族のニーズを提言するために、大胆かつ果敢に取り組むリーダーが必要なのです。遅すぎることにならないよう、私たちの将来は、子どもたちの健康と幸福に、今、どれほどまでに意欲的に投資できるかにかかっていることを認識する必要があります。”

主な広報／リリース先（本部）

- 厚生労働省（理事長、事務局長による直接訪問）
- 小児がん拠点病院（メールにて案内）
- 他、当会HPにてCCIと共同で“8 Reasons Childhood Cancer Should Be A Global Child Health Priority”、「小児がんを世界の子どもの医療政策上、優先すべき8つの理由」の日本語を掲載した。

取り挙げのあった主なメディア（当会支部）

- 宮城支部
宮城県ホームページ
- 新潟支部
新潟日報（紙面）、NHK
- 福井支部
毎日新聞（紙面）、福井新聞（紙面）、日刊県民福井（紙面）、福井テレビ、RCNケーブルテレビ、ラジオ出演、福井県済生会病院ホームページ
- 九州北支部
毎日新聞（紙面）、西日本新聞（紙面）

支部でのイベント

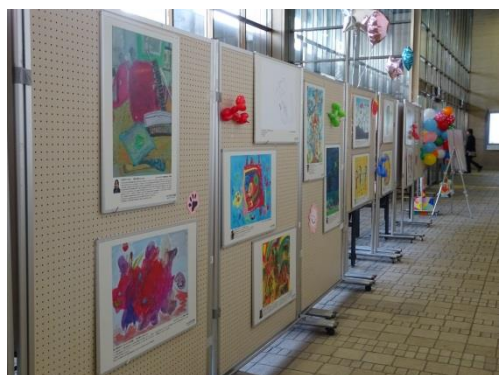


北海道支部

2/26（木）～27（金）
北海道庁

2月28日に北海道庁1階ロビーにて小児がん啓発活動を行いました。小児がんの子どもたちが描いた絵画展を開催し、北海道民へ小児がんについての理解の働きかけを行いました。

展示の様子



宮城支部

2/15（土）
宮城野区中央市民センター
2/9（月）～2/20（金）
宮城県庁1階ロビー

宮城県庁1階ロビーにて宮城県がん対策班主催、宮城支部の協力による国際小児がんの日になんだ絵画展を開催しました。



福島支部

3月22日（日）
イオン福島店

福島支部ではイオン福島さんのご協力の下、啓発キャンペーンを行いました。買い物に訪れたお客様から、たくさんの善意をいただきました



富山支部

2/15（土）フューチャーシティ
ファボーレ

国際小児がんの日の2月15日（土）に、富山県で一番大きいフューチャーシティ ファボーレにて、啓発活動を行いました。

当日は、富山県庁健康課のご協力を得、県知事のご承認もいただきました。

富山県総合衛生学院、富山大学の学生さんたちにもご協力いただき、約1000個のオリジナルポケットティッシュと小児がん啓発カードを配布しました。



新潟支部

2/15（土）イオンモール新潟南

イオンモール新潟南2階未来屋書店前にて、啓発活動をしました。その様子は、記事やテレビにも取り上げられ、広く小児がんについて関心を持っていただく機会になったと思います。

活動風景



新聞記事



関東支部

3/26（木）押上駅前

本部の啓発キャンペーンに参加しました。本部開催では唯一屋外のキャンペーンでとても肌寒い日でしたが、道行く人々のご厚意を感じながら500人ほどの方に啓発カードとオリジナルティッシュをお渡ししました。



長野支部

2/21（土）

長野県こども病院南会議室

2/28（土）

安曇野市社会福祉協議会

豊科支部支え合いセンター「にし」南会議室

2月21日（土）と2月28日（土）の2日に分けて、国際小児がんの日になんで、お茶会とバザーを開催しました。

その間、当会のパネルの展示、パンフレット、啓発カード、オリジナルポケットティッシュの配布もしました。

2月21日は患者家族や医療関係者、2月28日は一般の方を中心に 各日約100名が参加していただき、和気あいあいとした雰囲気にあふれた集いと啓発活動となりました。

静岡支部

4月5日（日）10:00～15:00

長泉&裾野交流イベント
「サクラサクマツリ」

午前10:00（会場集合は9:00）より、長泉町と裾野市の住民交流イベント「サクラサクマツリ」にて、募金活動等を行いました。

朝方は天候が悪く、開催が危ぶまれましたが、無事雨は止み、決行できました。

支部幹事その他、3名の地元ボランティアの計6名で行いました。

「マツリ」のステージでは、マイクで当会についての説明や啓発も行いました。

ぐずついた天気にも関わらず、会場には約2000人程の来場者があり、とても賑やかな雰囲気の中、募金に協力していただきました。



東海支部

2月15日（日）

ウインクあいち

ウインクあいち1208会議室をお借りし、

■病棟の子どもに笑顔を届けるバルーン（風船）づくり体験

■語る会（参加者同士で、感想や小児がん支援のことを語り合う）

を行いました。

ご参加された皆さまからは募金をお預かりいたしました。



関西支部

2月21日（土）総本山 四天王寺

2月21日は、推古天皇元年（593）に建立された日本仏法最初の官寺である四天王寺にて、啓発活動や募金活動をさせていただきました。



福井支部

- ・1/30～2/16（月）アピタ敦賀店
- ・2/15（土）フェアモール福井

活動風景



ラジオ出演



新聞記事



国際小児がんの日の活動が福井県のRCNケーブルテレビの番組でも取り上げられました。



岡山支部

2月21日（土）JR岡山駅前

JR岡山駅東口にて、啓発カードとオリジナルポケットティッシュ各1000部を配布しました。



愛媛支部

2/15（日）
フジグラン重信

総勢15人で、国際小児がんの日のキャンペーン活動を実施しました。小児がん診療に携わる先生方も、応援に駆け付けてくださいました。



昨年同様、東温市のイメージキャラクター「いのとん」も駆けつけていただき、相変わらずの人気者でした。



広島支部

2月15日

ヤマダLABI広島前

ヤマダLABI広島前で募金活動や啓発カードの配布を行いました。会場には絵画パネルを立てて目立つようにしました。



高知支部

2/15（日）高知会館

高知会館にて、国際小児がんの日啓発キャンペーンと高知小児がんフォーラムを開催しました。会場入り口で啓発カードとオリジナルポケットティッシュを各々200部配布しました。



香川支部

2月18日（水）
四国こどもとおとなの
医療センター

多くの方に小児がんの啓発カードやティッシュなどを手に取っていただき、募金にもご協力いただくことができました。

活動の様子



2月18日。啓発キャンペーン



香川支部





3月1日正午過ぎから、メッセージを付けた1000個の赤い風船飛ばしをしました。前夜からの雨にも関わらず、多くの方が応援に駆け付け、ヘリウムガスで風船を膨らませ、紐を付ける作業を行っていただきました。

新聞記事



九州西支部

2/15（日）ゆめタウン夢彩都

ゆめタウン夢彩都証明玄関前にて、支部幹事その他、ボランティアを加えた総勢10名のスタッフで小児がんの子どもたちの絵画の展示と啓発カードの配布、募金活動を行いました。

ボランティアに参加してくれた子どもたち（小学生～高校生）による元気な声掛けのおかげでたくさん準備していた配布は早々に終了。また、たくさんの人々から浄財をいただきました。

活動終了後は、スタッフの反省会を兼ねた昼食。ゆめタウン夢彩都店内のピザ店で舌鼓を打ちました。



宮崎支部

2/28（土） 若草通り商店街

JR宮崎駅に程近い若草通りアーケード街の「街市」にて、啓発活動を行いました。



宮崎大学医学部の学生さん5名もボランティアとして参加くださり、バルーンアートでブースを盛り上げてくださいました。



本部でのイベント



- ・トレッサ横浜
2月15日
- ・イオンモール船橋／新船橋
駅前／京成船橋駅構内
2月26日

トレッサ横浜での活動風景



京成船橋駅構内での活動風景



- ・イオンモール東久留米
3月14日
- ・押上駅前
2月12日
- ・大阪難波高島屋前
3月8日

イオンモール東久留米での活動風景



押上駅前での活動風景



大阪難波高島屋前での活動風景



小児がん経験者有志 による街頭活動 2月15日

有楽町駅周辺にて、小児がんを経験した方々による街頭啓発・募金活動が行われました。パワーあふれる呼びかけで、たくさんの方に募金をいただき、小児がんのことを知っていただくことができたと思います。

活動の様子



ご支援について—いくつか紹介します



オリジナルTシャツを購入いただいた大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科の先生方

主な支援企業や団体など

多数の個人さまはじめ、企業でも社員さまのご支援をいただき多数ご協力くださいました。

- 大阪母子保健総合医療センター 血液・腫瘍科
(Tシャツ9枚)
- 清水建設株式会社
(Tシャツ6枚、啓発カード80枚)
- 株式会社なゆた
(本部の啓発・募金活動のご協力、Tシャツ9枚)
- 日本生命保険相互会社
(社内チャリティバザー開催、Tシャツ27枚)
- 日本チャールス・リバー株式会社
(Tシャツ35枚、啓発カード200枚)
- 特定非営利活動法人シャイン・オン・キッズ
(ホームページにて、本啓発キャンペーンの紹介を掲載)
- イオンモール川口前川
(啓発カード、キャンペーンチラシ各200枚を設置)
- イオンモール与野
(啓発カード、キャンペーンチラシ各200枚を設置)
- 東京国際フォーラム
(キャンペーンチラシ及びゴールドリボンチラシ各200枚を設置)
- 聖路加国際病院親の会リンクス
(院内イベントにて啓発カード配布)
- 他

終わりに

4年目に入った今年は、2月15日～3月31日をキャンペーン期間とし、昨年に引き続き、全国一斉キャンペーンを開催いたしました。さらに、小児がんの子どもたちの絵をモチーフにした啓発カードの配布や啓発パネルの展示をしたことで、小児がんについてより一般の方々に目に留めていただく工夫をいたしました。

1か月半のキャンペーンでしたが、本当に多くの方の支えやご支援をいただくことができた実感しており、大変感謝しております。

そして何より、この機会を通じてこれまでご支援いただいていた皆さまと更に深いつながりができたこと、そして新しいご縁ができたことは当会にとっての財産となりました。

今後も小児がんの患児家族のために、鋭意活動をしてゆきたいと思っておりますので、今後ともご支援いただきたくお願い致します。

国際小児がんの日のキャンペーンへのご協力、ありがとうございました。

公益財団法人
がんの子どもを守る会 一同





公益財団法人 がんの子どもを守る会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-3-12
Tel 03-5825-6311 (代表) Fax 03-5825-6316
URL <http://www.ccaj-found.or.jp>
E-Mail nozomi@ccaj-found.or.jp